

令和8年度 第6学年 授業改善プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題	○中心とする単元	授業改善に向けての具体的な手立て	◎ 成 果 ● 課 題
知識・技能	〈全教科〉 - 言葉を適切に活用したり内容のまとまりを意識したりして自分の考えを書くことに、難しさを感じている児童が見られる。 〈理科〉 - 知識はあるものの、実験や観察の技能の定着に課題がある。	〈国語〉 ○「十二歳の主張」 ○「六年間の思い出をつづろうー卒業文集ー」 〈理科〉 ○「ものの燃え方」	交流活動の工夫 - 語句の優れた使い方に触れたり、自分で見直す力を伸ばしたりできるように、友達同士で学習内容を交流し、見直したり推敲したりする場面を取り入れる。 実験方法の丁寧な指導 - 必要に応じてICT等を活用し、前学年までの内容に立ち返って指導する。実験や観察については、注目する点やその記録のしかたを掲示するなどし、事前に全体で共有する。	
思考力・判断力・表現力等	〈社会〉 - 教科書や資料から読み取った事実を関連付けながら学習問題の解決につなげたり、自ら課題を追究したりすることに課題が見られる。 〈理科〉 - 問題から結論までの流れを意識して問題解決を進めることや、結果を学習問題と結び付けて考察をまとめることに課題が見られる。	〈社会〉 ○「全国統一への動き」 ○「近代国家をめざして」 〈理科〉 ○「てこのはたらき」 ○「水溶液の性質とはたらき」	追究したくなる問題づくり - 導入や課題の提示を工夫することで、児童の疑問から学習問題をつくる。問題を自分事として捉えられるようにすることで、問題解決の意識を、単元を通してもてるようにする。 問いに立ち返る活動の充実 - 資料を読み取る際や実験結果を整理する際には、学習問題とのつながりを繰り返し問い、思考を整理する場を設定する。	
学びに向かう力・人間性等	〈全教科〉 - 意欲的に取り組もうとする姿は見られるが、最後まで粘り強く、学びに向き合うことが難しい児童もいる。 - 学びを振り返る際に、その時間に活動したことの感想に留まってしまうことが多い。自分事として考えながら学ぶ習慣を身に付けることに課題がある。	〈理科〉 ○「ものの燃え方」 ○「てこのはたらき」 〈体育〉 ○「走り幅跳び」 ○「走り高跳び」	振り返りの視点 45分間の学習で何を学ぶのか、自分のめあてを明確にもたせる。 - 振り返りの視点を具体的に示す。 - 振り返りの記述を評価し、自身の成長に気付かせ、次の学習への意欲につなげる。 学びの一般化 - 学習したことと生活の中で起こる事象の結び付きを考えさせる。	